

IR(赤外線)カットフィルム

取付要領書

品 番

品 番	ショートボデー	IR (赤外線) カットフィルム1台分 (スモーク)	08230-50010
		IR (赤外線) カットフィルム1台分 (ダークスモーク)	08230-50020
	ロングボデー	IR (赤外線) カットフィルム1台分 (スモーク)	08230-50030
		IR (赤外線) カットフィルム1台分 (ダークスモーク)	08230-50040

構成部品

ショートボデー

No.	品 名	補給品番	個数
①	リヤドア ウインドウ フィルム (スモーク)	RH 08230-50011	1
		LH 08230-50012	1
②	リヤドア ウインドウ フィルム (ダークスモーク)	RH 08230-50021	1
		LH 08230-50022	1
③	取扱書	—	1

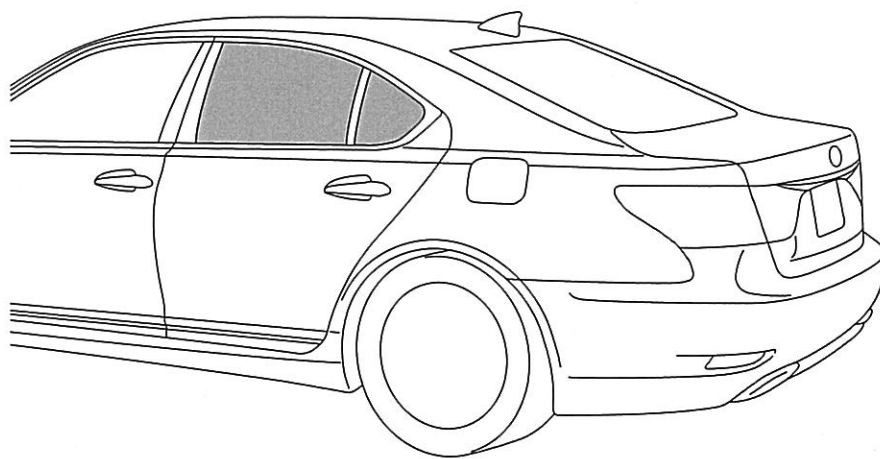
ロングボデー

No.	品 名	補給品番	個数
①	リヤドア ウインドウ フィルム (スモーク)	RH 08230-50031	1
		LH 08230-50032	1
②	リヤドア ウインドウ フィルム (ダークスモーク)	RH 08230-50041	1
		LH 08230-50042	1
③	取扱書	—	1

取り付けに必要な工具等

- ・ 一般工具、スキージー（樹脂製）、スプレー容器、中性洗剤、水道水、スケール、マスキングテープ、ビニールテープ、保護テープ、ビニールシート、クリップリムーバー、ペーパータオル等

取付概要



HBAB003F

取り付け上の注意事項

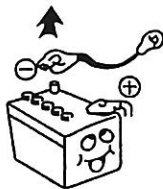
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- △ 注意 …注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
- 👉 アドバイス …スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

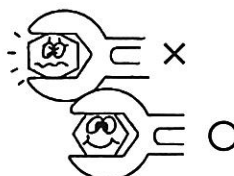
取り付ける前に

- バッテリーの(－)側ケーブルをはずす



部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



作業時は

ゴミ・ホコリの侵入防止の為に

- ガラス両面の汚れを清掃する
- フィルムに施工液をたっぷりかける
- 風等の無い場所で作業する

取り付け完了後は

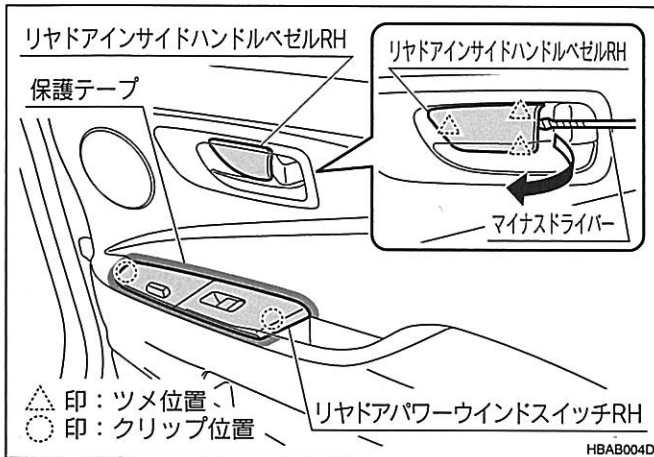
- 取りはずした車両部品は確実に復元する



車両部品の取りはずし要領【リヤドアサンシェードなし】

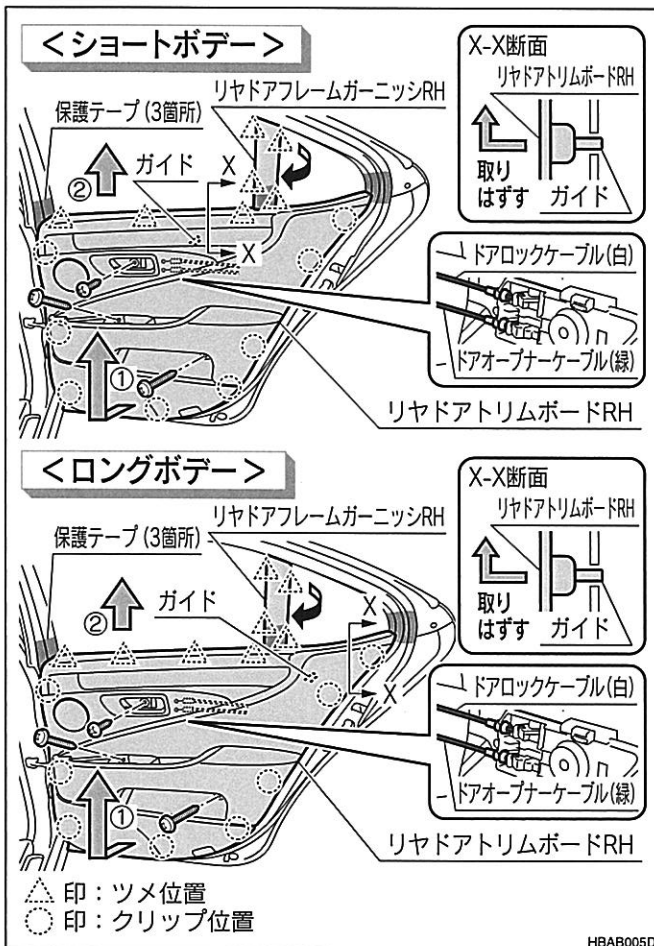
取り付け前の準備

1. リヤドアガラス各 RH・LH の車両外側を清掃する。
2. リヤドアガラスを完全に閉めた状態から、約 20mm 下げる。
3. 補機バッテリーの (－) 側ケーブルをはずす。



リヤドアトリムボードの取りはずし (図は RH 側を示す。LH 側も同様に作業してください。)

1. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用して、ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、リヤドアインサイドハンドルベゼル RH を取りはずす。
2. 保護テープを貼り付ける。
3. クリップ (2箇所) の嵌合をはずし、リヤドアパワーウィンドスイッチ RH を取りはずす。



1. 保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (4箇所) の嵌合をはずし、リヤドアフレームガーニッシュ RH を取りはずす。
3. スクリュー (3本) をはずす。

<ショートボデー>

4. クリップ (8箇所) の嵌合を ① 矢印方向にはずし、ツメ (3箇所) の嵌合を ② 矢印方向に取りはずし、リヤドアトリムボード RH を取りはずす。

⚠ 注意

ガイドを破損しないよう注意してください。

<ロングボデー>

4. クリップ (8箇所) の嵌合を ① 矢印方向にはずし、ツメ (4箇所) の嵌合を ② 矢印方向に取りはずし、リヤドアトリムボード RH を取りはずす。

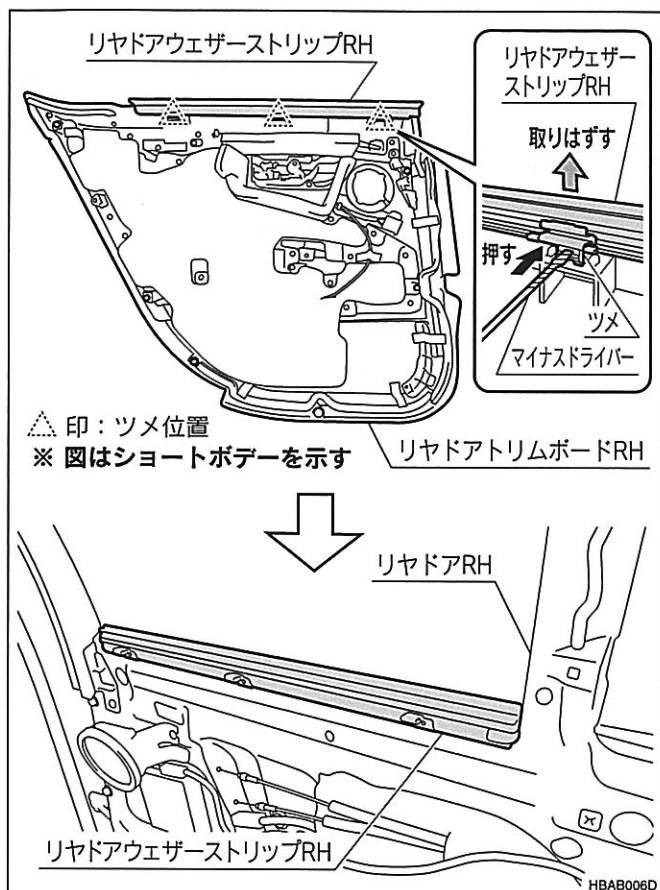
⚠ 注意

ガイドを破損しないよう注意してください。

5. リヤドアトリムボード RH 裏から、ドアロックケーブル (白) 及びドアオープナーケーブル (緑) を取りはずす。

⚠ 注意

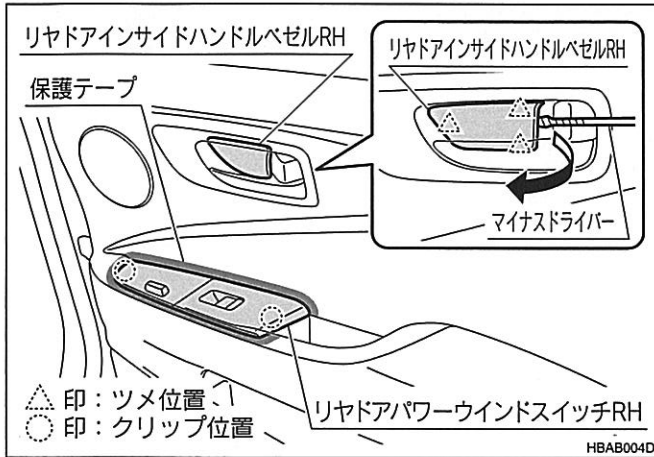
復元の際は、ドアロックケーブル (白) 及びドアオープナーケーブル (緑) の色と取付位置を確認してください。



リヤドアトリムボードの復元手順 (図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

1. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用して、ツメ (3箇所または4箇所) の嵌合をはずし、リヤドアウェザーストリップRHを矢印方向に取りはずす。
2. 取りはずしたリヤドアウェザーストリップRHをリヤドアRHに取り付ける。
3. リヤドアトリムボードRHをリヤドアRHに取り付ける。

車両部品の取りはずし要領【リヤドアサンシェード付き】



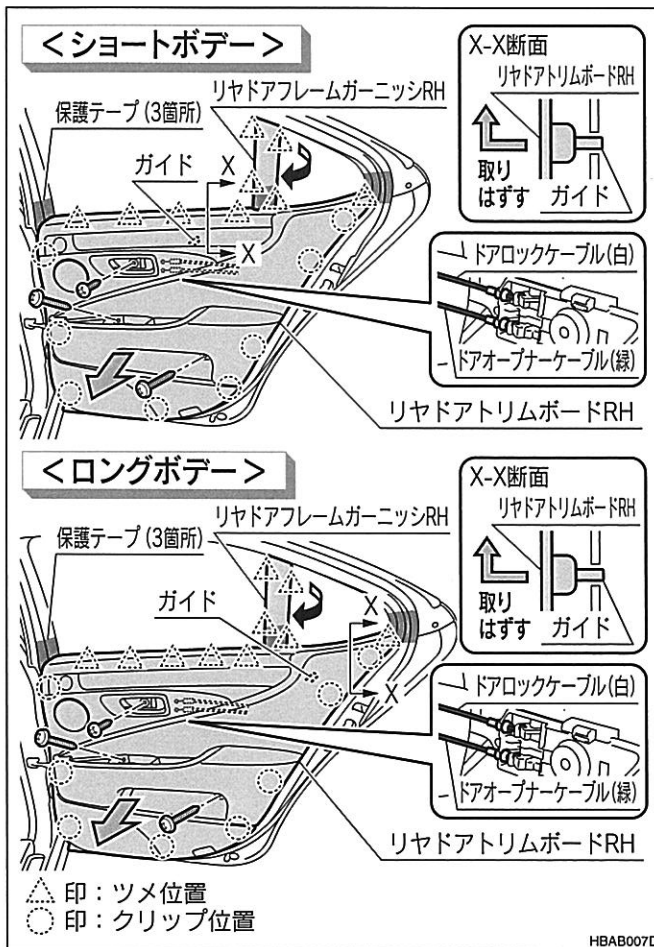
取り付け前の準備

1. リヤドアガラス各 RH・LH の車両外側を清掃する。
2. リヤドアガラスを完全に閉めた状態から、約 20mm 下げる。
3. 補機バッテリーの（－）側ケーブルをはずす。

リヤドアトリムボードの取りはずし

(図は RH 側を示す。LH 側も同様に作業してください。)

1. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用して、ツメ (3 箇所) の嵌合をはずし、リヤドアインサイドハンドルベゼル RH を取りはずす。
2. 保護テープを貼り付ける。
3. クリップ (2 箇所) の嵌合をはずし、リヤドアパワーウィンドスイッチ RH を取りはずす。



1. 保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (4 箇所) の嵌合をはずし、リヤドアアフレームガーニッシュ RH を取りはずす。
3. スクリュー (3 本) をはずす。

＜ショートボデー＞

4. クリップ (8 箇所) 及びツメ (5 箇所) の嵌合をはずし、矢印方向にリヤドアトリムボード RH を取りはずす。

＜ロングボデー＞

4. クリップ (8 箇所) 及びツメ (6 箇所) の嵌合をはずし、矢印方向にリヤドアトリムボード RH を取りはずす。

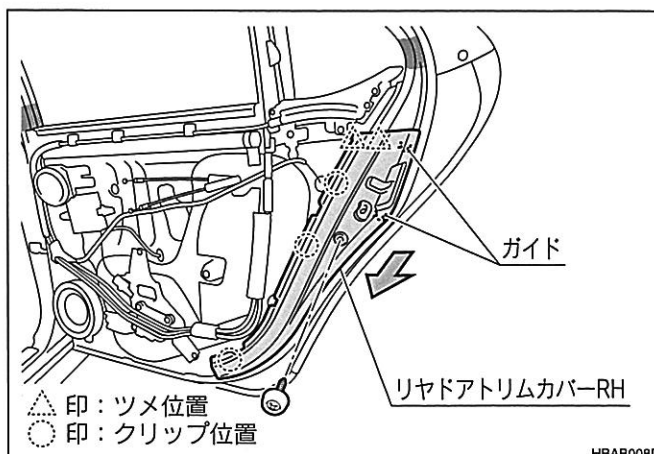
⚠ 注意

ガイドを破損しないよう注意してください。

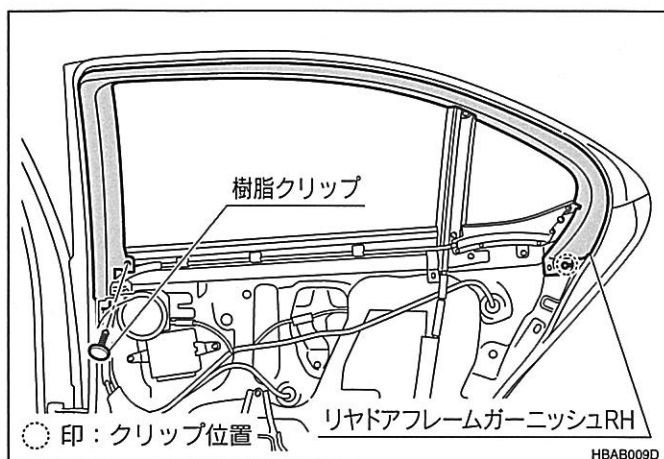
5. リヤドアトリムボード RH 裏から、ドアロックケーブル (白) 及びドアオープナーケーブル (緑) を取りはずす。

⚠ 注意

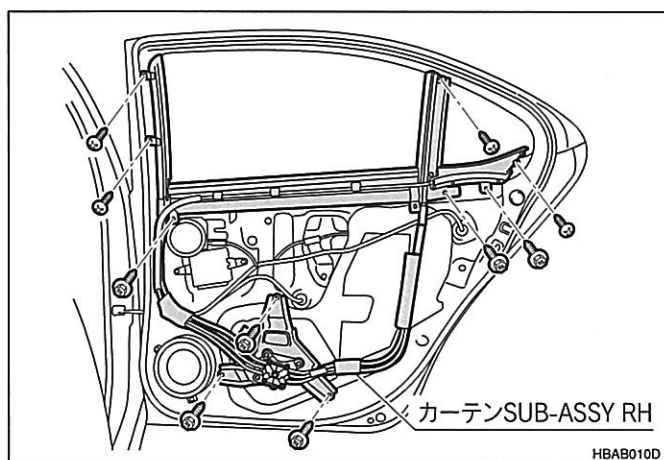
復元の際は、ドアロックケーブル (白) 及びドアオープナーケーブル (緑) の色と取付位置を確認してください。



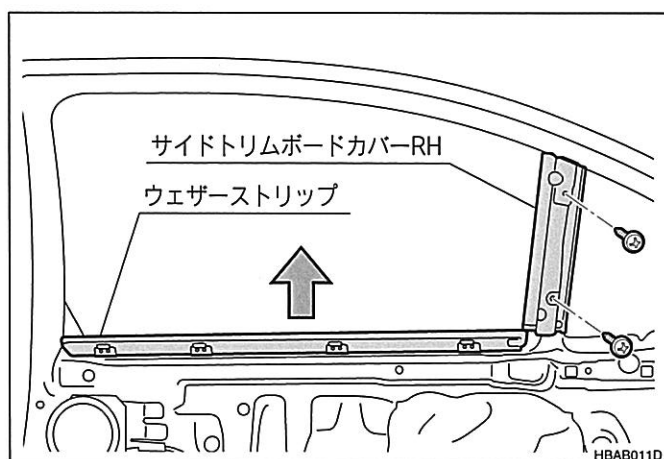
1. スクリュー (1 本) をはずす。
2. クリップ (3 箇所) 及びツメ (2 箇所) の嵌合をはずし、矢印方向にリヤドアトリムカバー RH を取りはずす。



1. 樹脂クリップ (1 個) をはずす。
2. クリップ (1箇所) の嵌合をはずし、リヤドアフレームガーニッシュ RH を取りはずす。

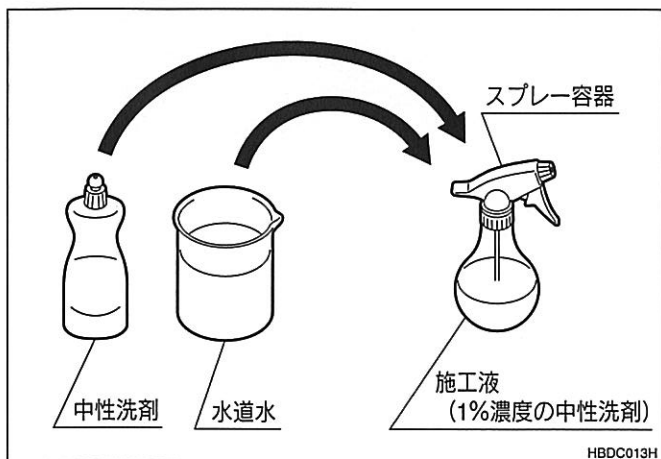


1. スクリュー (10 本) をはずし、カーテン SUB-ASSY RH を取りはずす。



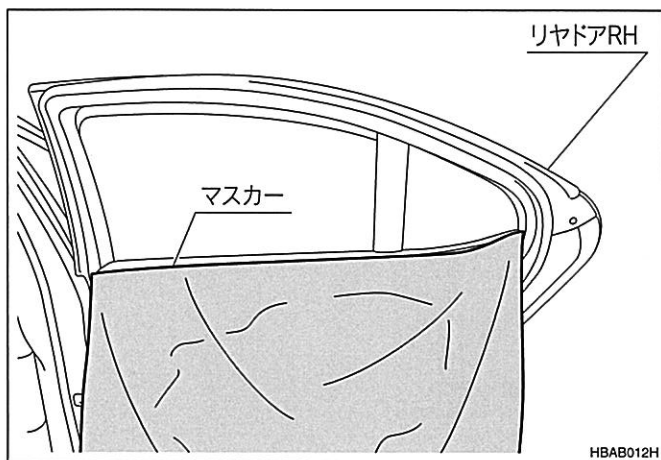
1. スクリュー (2 本) をはずし、サイドトリムボードカバー RH を取りはずす。
2. ウェザーストリップを矢印方向に取りはずす。

取付作業



施工液の準備

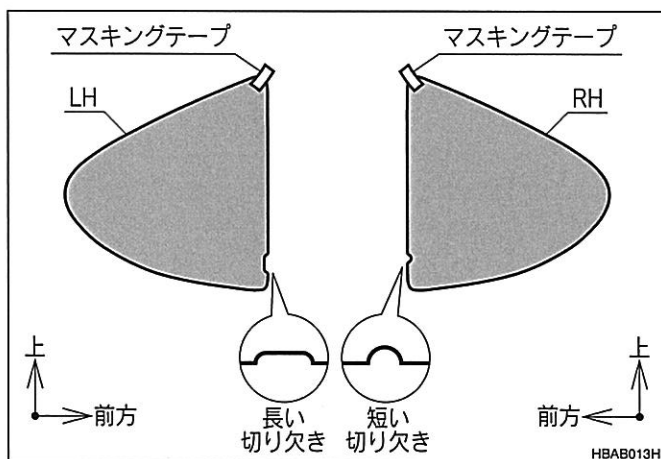
中性洗剤を水道水で1%濃度に薄める。



以降、取付作業の図は、【リヤドアサンシェードなし】を示します。
【リヤドアサンシェード付き】も同様に作業してください。

リヤドアウインドウフィルムの貼り付け前の準備 (図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

施工液がリヤドアRH内部に垂れるのを防ぐ為に、マスク等でリヤドアRHを覆う。



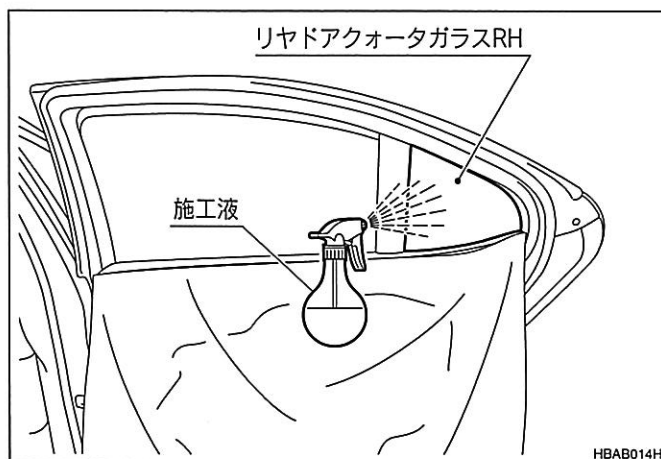
リヤドアウインドウフィルムの取り付け

1. リヤドアウインドウフィルム (小) のLH用とRH用を区別する。

アドバイス

- (1) 短い切り欠きがあるRH用から取り付けます。
- (2) 切り欠きがある方が、車両前方下になります。

2. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

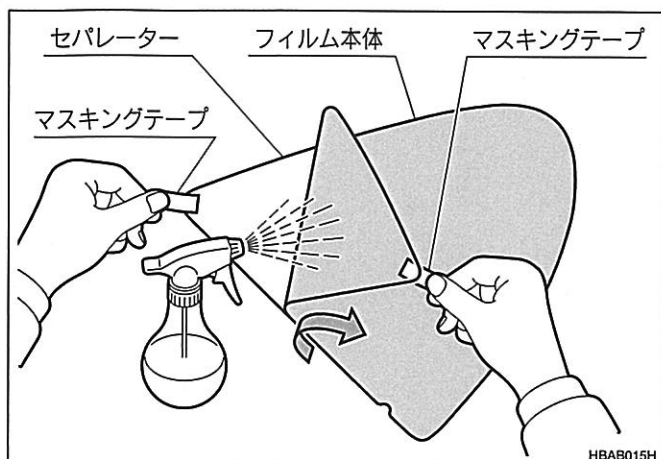


3. リヤドアクォータガラス RH 室内側全面に施工液をたっぷりスプレーし、ガラスを清掃する。

アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

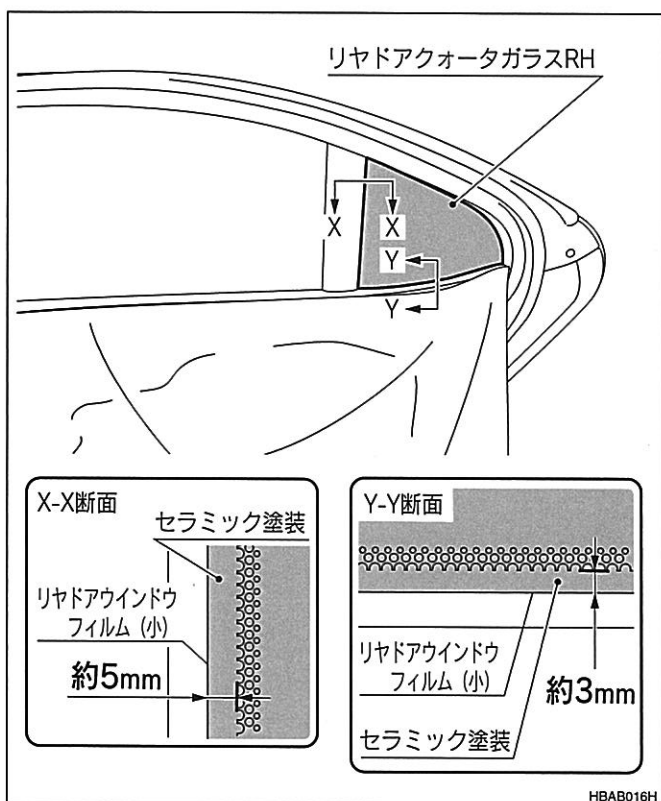
4. リヤドアクォータガラス RH 室内側に再度施工液をスプレーする。



5. マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

👉 アドバイス

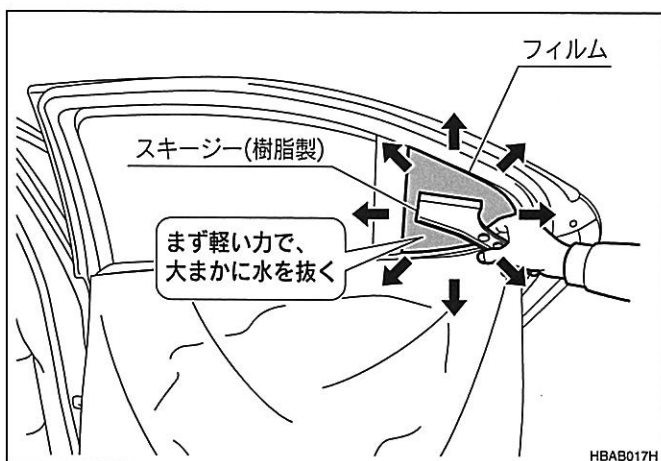
- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないよう注意してください。
- (2) リヤドアクォータガラス及びフィルム粘着面に、施工液をたっぷりスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



6. リヤドアウインドウフィルム（小）をクォータガラスのセラミック塗装とラップさせるように取り付ける。

👉 アドバイス

- (1) 切り欠きがある方が、車両前方下になります。
- (2) 図中の参考値は、あくまでも目安です。フィルムとガラスのセラミック塗装部をラップさせることを優先してください。



7. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

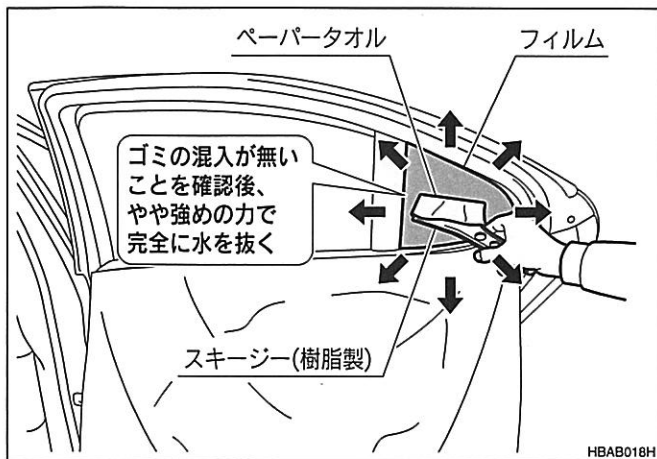
👉 アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で軽くフィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

👉 アドバイス

最初はフィルムがずれないように、力を加減してください。



9. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。
10. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパータオルを巻く。
11. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）でやや強めにフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

👉 アドバイス

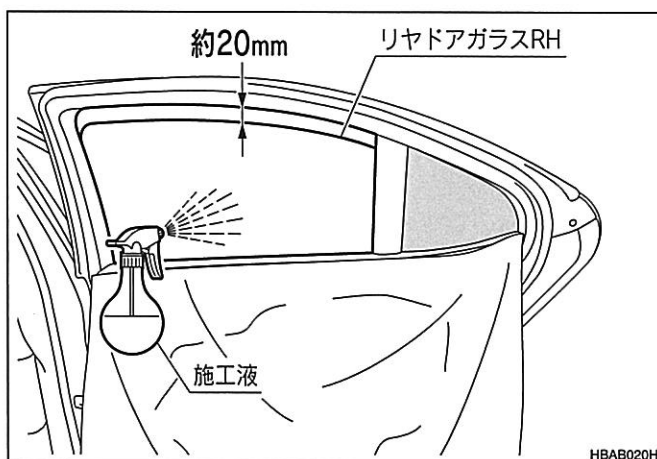
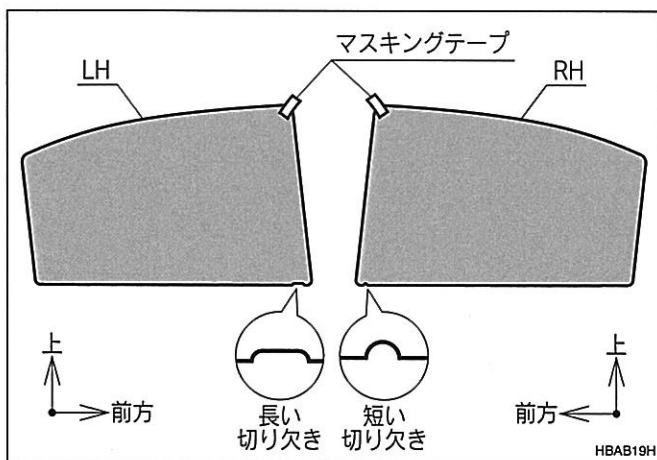
フィルムがずれないように、作業をしてください。

12. 同様に、リヤドアウインドウフィルム（小） LH を取り付ける。
13. リヤドアウインドウフィルム（大）の LH 用と RH 用を区別する。

👉 アドバイス

- (1) 短い切り欠きがある RH 用から取り付けます。
- (2) 切り欠きがある方が、フィルムの下端になります。

14. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

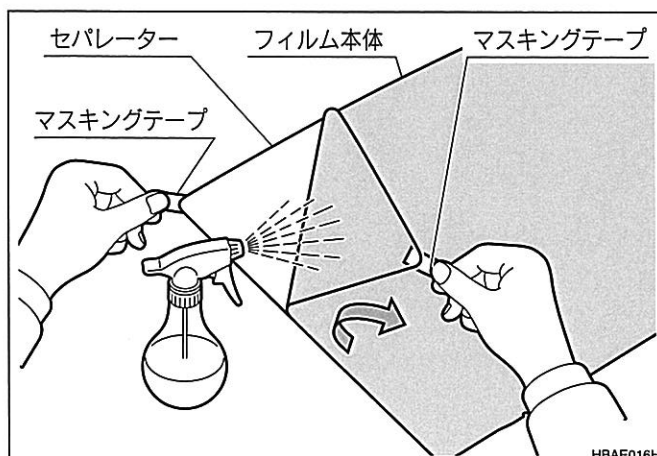


15. リアドアガラス RH が約 20mm 下がっていることを確認する。
16. リアドアガラス RH 表裏両面に施工液をたっぷりスプレーし、ガラスを清掃する。

👉 アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

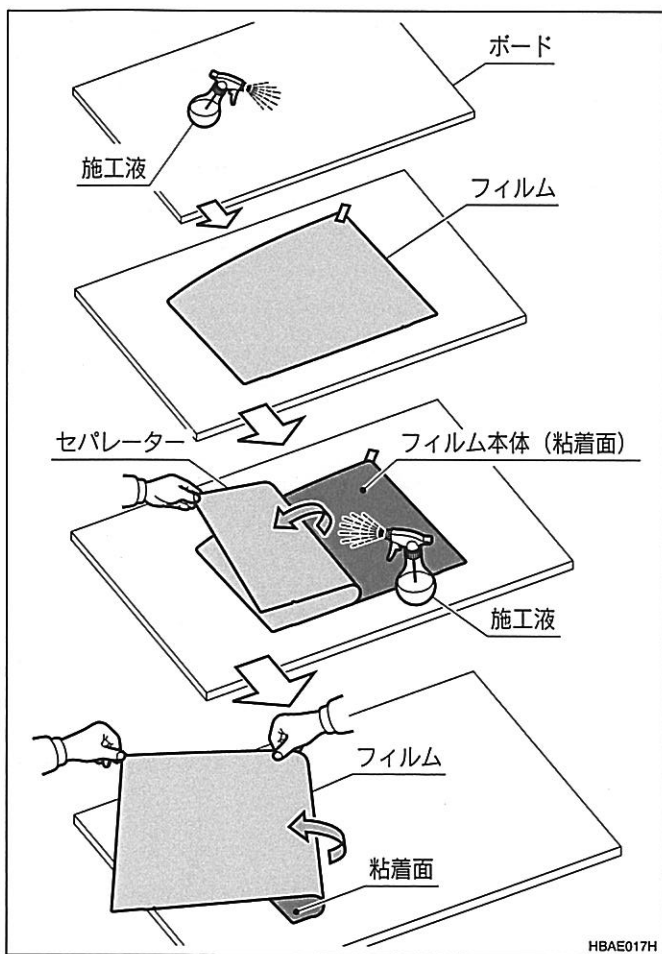
17. リアドアガラス RH の内側全面に、再度施工液をスプレーする。



18. マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

👉 アドバイス

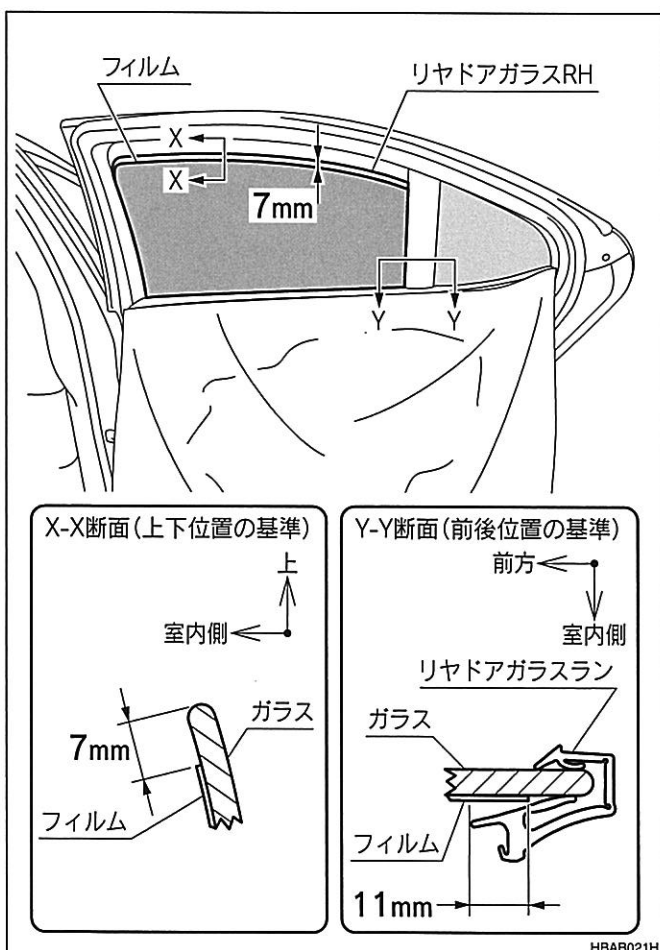
- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないよう注意してください。
- (2) リアドアガラス及びフィルム粘着面に、施工液をたっぷりスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



👉 アドバイス

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと作業を容易に行うことができます。

- (1) ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる恐れのない平面をリヤドア近くに準備します。
- (2) 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、リヤドアウインドウフィルム（大）の本体側を平面部に貼り付けます。
- (3) マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、貼り付けてあるフィルムからセパレーターを全て剥がします。
- (4) リヤドアウインドウフィルム（大）の上端側の一方を片手で持ち、フィルム本体を平面から剥がしながら粘着面が自分の体と反対側になるように、両手で上端両サイドを持ちます。
- (5) リヤドアウインドウフィルム（大）の粘着面をドアガラスに取り付けます。

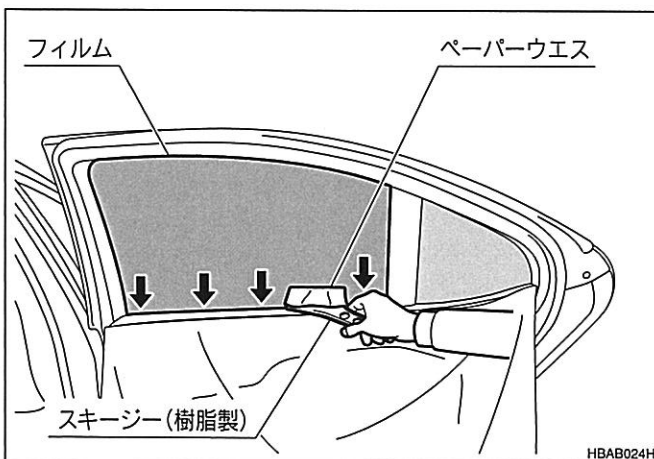
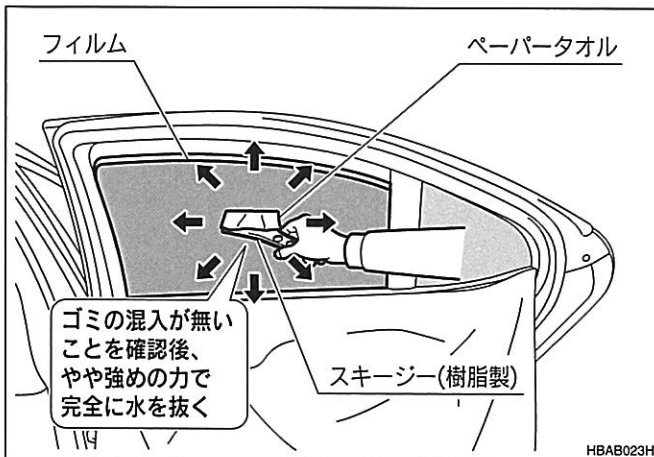
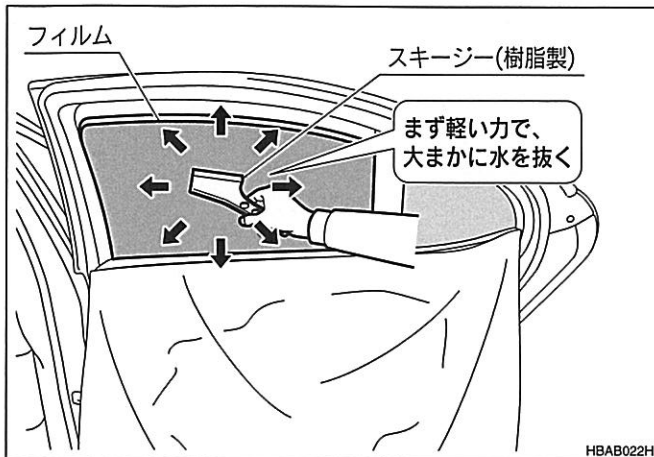


19. ガラス上端からフィルム上端が均等に 7mm（左図 X-X 断面）の位置になるように取り付ける。

👉 アドバイス

ガラス以外の部分にフィルム本体が触れないように取り付けてください。

20. ガラス上端とフィルム上端の間隔を 7mm に保ったまま、フィルム後端を左図 Y-Y 断面に従い調整する。



21. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

アドバイス

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

22. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で軽くフィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

アドバイス

最初はフィルムがずれないよう、力を加減してください。

23. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。
万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

24. フィルム上端がガラス上端から 7mm 空いていること、フィルム後端がリアドアガラスランに 11mm 入り込んでいること、及びフィルム前端がリアドアガラスランに入り込んでいることを確認する。

25. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパータオルを巻く。

26. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）でやや強めにフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

アドバイス

フィルムがずれないよう、作業をしてください。

27. 補機バッテリーの（－）側ケーブルを取り付ける。

28. リヤドアガラス RH を一番上まで上げる。

29. 補機バッテリーの（－）側ケーブルをはずす。

30. 吸水性のウエス等を巻いたスキージー（樹脂製）でフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

31. 作業終了後、リアドア RH に貼り付けたマスキングを取りはずす。

32. 同様に、リヤドアウィンドウフィルム（大） LH を取り付ける。

復元作業

- ・取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。
- ・付着した施工液をふき取ってください。

⚠ 注意

復元作業は、車両部品の損傷や、車両ハーネスの噛み込みに充分注意してください。

👉 アドバイス

フィルムのズレ防止の為、フィルム貼り付け後 20 分程度は、できるだけドアガラスの昇降を避けてください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷をつけていないことを確認してください。
3. ドアロック、パワーウィンドウ（各ドア）が正常に作動することを確認してください。